

編 集 後 記

環境管理センター報第7号(昭和60年度)をお届けいたします。

本年度は、岡山大学に特殊廃水処理施設(S.50)が設置されて以来丁度10年目に成ります。この間、環境管理施設(S.53)を経て環境管理センター(S.57)と規模も大きくなり、また59年度には津島西地区の排水系統の整備も完了し設備・人員ともにある程度整ってきたと言えます。現在の姿に至るまでには、教官ならびに事務局の方々の御努力が在ったわけですが、設置当初の思い出等ふり返っていただくことに致しました。

しかし、岡山大学に於て研究ならびに教育活動が益々活発に行われている現在、それに伴う研究室から、排出される物質は多種多様であり、現在の環境管理センターの処理方式を持ってしても十分であるとは言えません。その意味で、今後の環境管理センターのあり方として、大藤学長から、量から質の向上といった点で御執筆いただきました。

今回から、環境管理センターのみならずセンター報も大いに利用していただくために、環境管理センターの年間の行事予定、職員名簿等を青刷りし、皆様方のお手元においていただき活用をお願いするしだいです。

ズーム・アップでは、センター内の教職員の方々の仕事振りを紹介するわけですが、第7号ではさしずめ縁の下の力持ちといったところで、真砂百雅さんに登場していただきました。

編集委員会では、常に皆様方の御意見・自由な投稿をお待ちしております。どうぞ気楽に御連絡下さい。(小田 喜一)

連絡先 環境管理センター
センター報編集委員会
(TEL 内 449)